

# 仙台防災未来フォーラム2024



主催/仙台市  
後援/宮城県、東北大学災害科学国際研究所

## テーマ 仙台枠組折り返し みんなで今できる防災



# 3/9

2024

土

仙台国際センター展示棟  
青葉山公園仙臺緑彩館 ほか  
(地下鉄東西線「国際センター駅」下車)

9:30～16:30

入場  
無料

「仙台防災未来フォーラム2024」は、東日本大震災の経験や教訓を未来につなぐため、発表やブース展示、ワークショップなどを通じて市民のみならず、皆さまが防災を学び、日頃の活動を発信できるイベントです。

詳しくは中面を  
ご覧ください



参加するだけで学べる防災アクティビティ！ 防災ヒーロー入団試験クイズラリー  
シャチハタ 楽しく学ぶ 防災・減災スタンプラリー

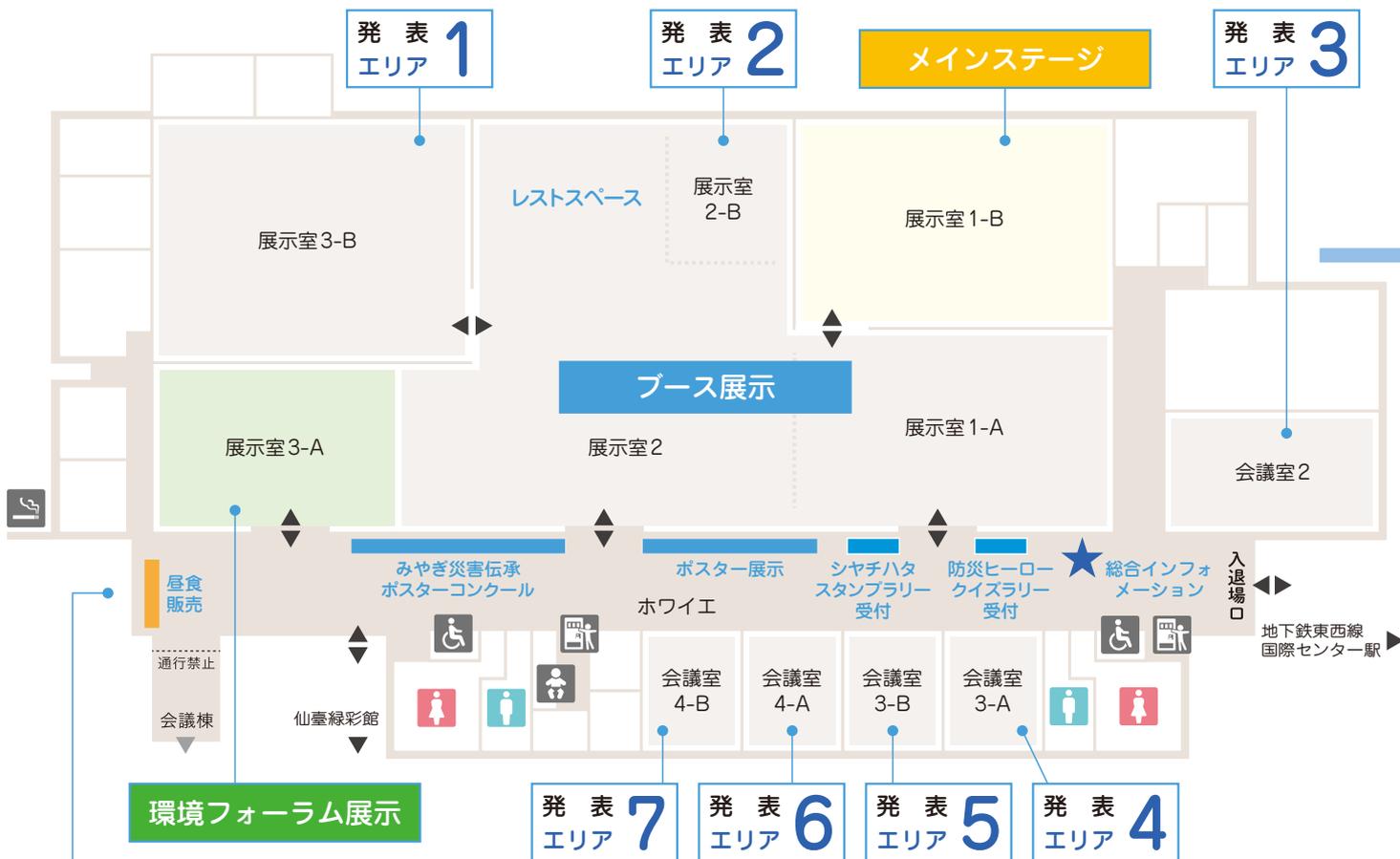
実施中！

詳しくは裏面をチェック！

# 会場全体図

## 仙台国際センター 展示棟

凡例 …トイレ …ひろびろトイレ …自販機 …授乳室



### 会場でお弁当を販売します！ 100個限定 レシピつき

備蓄品をおいしくたべて  
フードロス削減！

仙台防災未来フォーラム2024  
「防災+エコ弁当」

11:00～ ※売り切れ次第終了



¥1,080 [税込]

備蓄食料品として家庭にある缶詰、レトルト食品、乾物などは知らぬ間に賞味期限が切れがちです。無駄なくおいしく召し上がっていただくためのアイデアをお弁当にしてレシピつきでお届けします。

※展示棟展示室内レストスペース、青葉の風テラス 2F (12:30～16:30) にてお召し上がりいただけます。

### 仙台国際センター設備について

- ◇ 無料Wi-fiがご利用いただけます。  
※専用ID・パスワードは、会場でご案内しております。
- ◇ 会場設備  
  - < 展示棟 >
    - 車いす用トイレ (ひろびろトイレ) (おむつ交換台あり)
    - 授乳室
- ◇ 館内は禁煙です。  
展示棟の屋外「喫煙コーナー」をご利用ください。

※仙台国際センター 展示棟「展示室2」、国際センター駅「青葉の風テラス」2Fに飲食可能なレストスペースを設けています。

### 青葉山公園

## 目次

- 会場全体図 ..... 2～3
- タイムスケジュール／ステージショー ..... 4～5
- 発表／ワークショップ ..... 6～7
- ブース・ポスター展示 ..... 8～11
- キッズにおすすめ ほか ..... 12

### 発表・ワークショップ P4～7



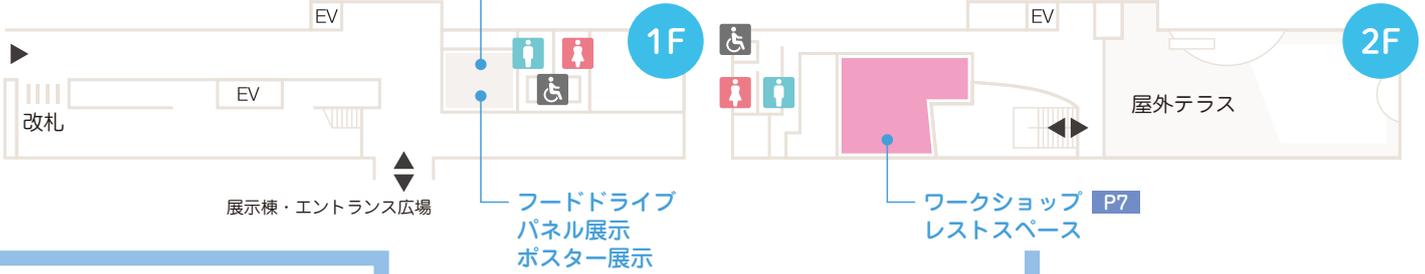
## 国際センター駅 「青葉の風テラス」

複合施設（中心部震災メモリアル拠点 × 音楽ホール）の整備を進めています 一人・文化・まちを育む創造の広場

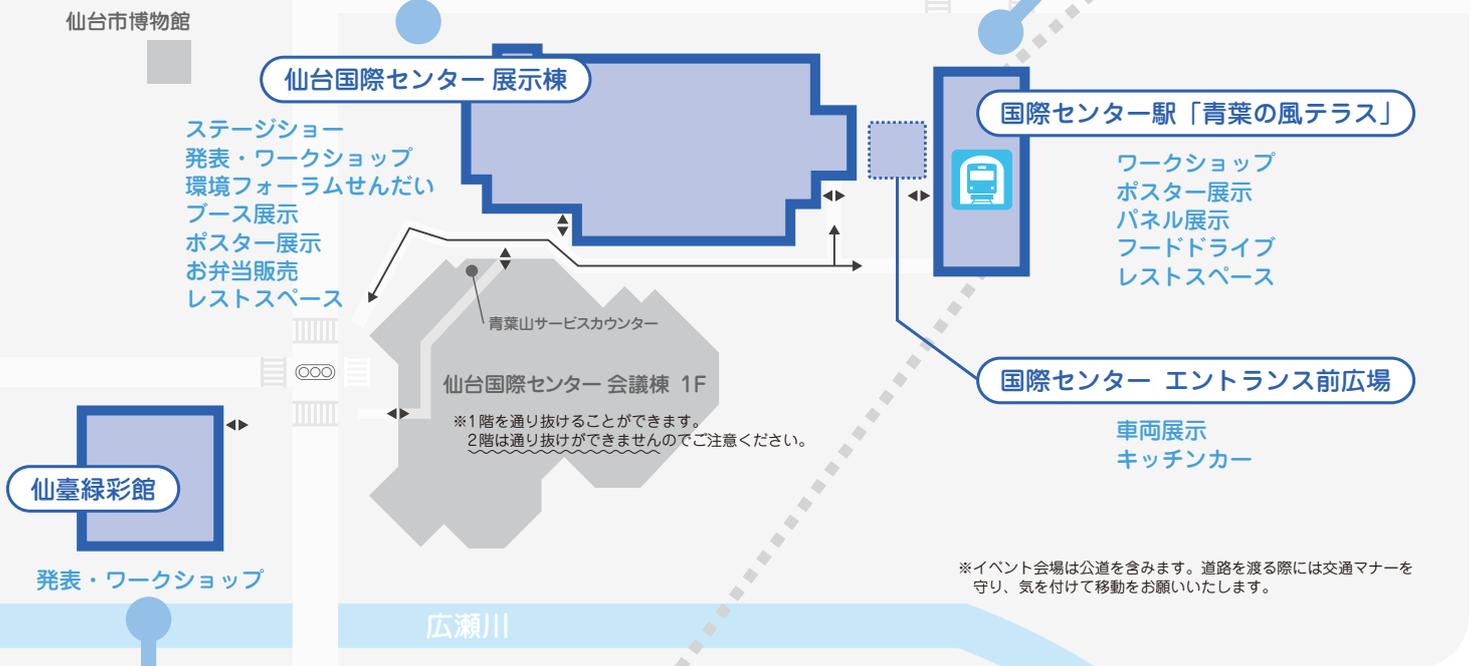
仙台の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点。「人・文化・まちを育む創造の広場」を基本理念とする複合施設の整備について、現在の検討状況をお知らせします。  
● 仙台市防災環境都市推進室・青葉山エリア複合施設整備室

「Voice」ダイジェスト映像 —これを観たら劇場へ！  
10代・20代が挑む、仙台市東部沿岸地域の伝承—

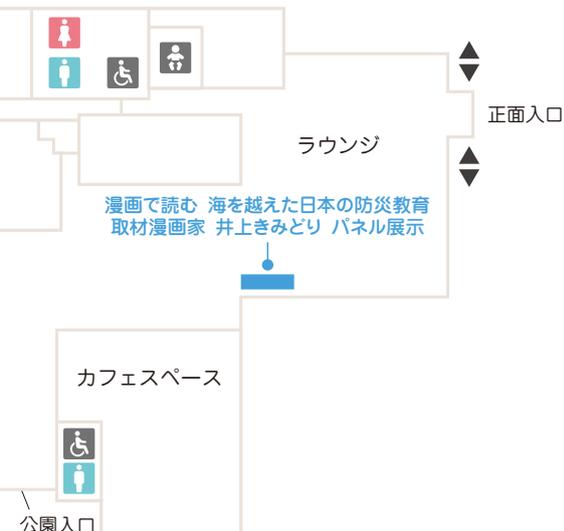
「Voice 仙台市東部沿岸地域の伝承と物語」演劇創作・上演ワークショップでは、10代・20代の参加者が協力し、地域の伝承・物語を伝える演劇を作ります。その顔合わせから中間発表までを映像で紹介します。  
● せんだい3.11メモリアル交流館／公益財団法人 仙台市民文化事業団



## 会場マップ



## 仙臺緑彩館 交流体験ホール



## エントランス前広場 キッチンカーがやってくる!!

11:00～16:30 ※売り切れ次第終了

<メニュー> ホットドッグ、フライドポテト、カレー各種  
スコーン、コーヒー、ソフトドリンク

是非お立ち寄りください

※展示棟展示室内レストスペース、  
青葉の風テラス 2F (12:30～16:30)  
にてお召し上がりいただけます。



## 車両展示



9:30～16:30

国際センターエントランス前広場

トラック給電（電源ドナー）  
—日本初の街中を走っている  
トラックからの給電—

いつも街中を走っているトラックが持つ発電機能を利用して、災害時を想定して国内初となるバッテリーから給電する取り組みの実演を行います。

● 株式会社 大昇物流

災害支援車（LCX）  
—必要不可欠なライフラインの  
生成をこの一台で

災害発生時に寸断されて真っ先に必要となる飲料水・電気・ガスを生成し、その場で供給することが出来る災害支援車（LCX）の展示になります。工事現場やレジャーでも活躍します。（製造元：大江車体特装）

● ゴールドキング株式会社

# タイムスケジュール

## 3/9 土

	9時 30 45	10時 15 30 45	11時 15 30 45	12時 15 30 45	13時 15 30 45	14時 15 30 45	15時 15 30 45	16時 15 30	
発表 エリア 1 [展示室 3-B]	東北大学災害科学国際研究所連携シンポジウム								
		10:00~12:00 東日本大震災メモリアル シンポジウム2024 「誰一人取り残さない」 インクルーシブ防災		12:15~12:50 令和6年 能登半島地震 災害復興支援 シンポジウム		13:00~14:20 災害デジタル ツインの構築と 活用に向けて	14:30~15:20 レジリエント・コミュニティの 創生を目指して —イオン防災環境都市創生 共同研究部門の活動—		15:30~16:00 閉会式 今後の活動と 世界防災フォーラム 2025の発表
発表 エリア 2 [展示室 2-B]	9:45~9:55 開催宣言	10:25~10:55 海辺の復興の歩み —宮城野区津波 被災地から、未来へ—		11:30~13:00 早期警戒アクションの 重要性について： 私達が更に取り組めること		13:30~15:10 仙台市防災・減災 アドバイザーがお届け！ 出展者紹介コーナー		15:45~16:30 本当に役立つ！ 女性のための備蓄品	
発表 エリア 3 [会議室 2]		9:45~11:15 SDGs×防災× 杜の都シンポジウム		11:50~12:50 まるごと防災の 取組について ～自助の強化で事前の 被害軽減対策の提案～		13:25~14:55 あれから13年 スペシャル —仙台防災未来 フォーラム編		15:30~16:30 災害時に衛生面で女性と 子どもを守る取組み —WOTA BOXを活用した 次世代の災害支援—	
発表 エリア 4 [会議室 3-A]		9:45~10:45 楽しみながら健康寿命を延ばす —災害弱者を生まない Open Villageノキタの 取組み—		11:20~12:50 3.11の経験を全国へ 「防災×女性リーダー」で 地域の防災力向上！ —7府県の 女性リーダー育成の現在地—		13:25~14:25 100年前の手紙 —関東大震災直後、 アメリカに届けられた 日本人学生の感謝の想い—		15:00~16:30 防災を楽しく学べる！ オリジナル防災 カードゲーム体験	
発表 エリア 5 [会議室 3-B]		9:45~10:30 災害時の ボランティア活動		11:05~12:35 「震災」を伝え続ける —それぞれの 取組みを通して		13:10~14:10 「被災シミュレーション もしもすぐろく」 de間違いさがし		14:45~16:15 留学生・技能実習生 増加する外国人と 多文化防災	
発表 エリア 6 [会議室 4-A]		9:45~11:15 防災・減災の 基盤としての 「平和」について		11:50~12:05 しぜんと備える！ 地球にやさしい 防災リュック～		12:40~14:10 共創・連携で培う地域防災力 —NGO・企業・行政・ コミュニティで創ったネパール 洪水防災支援事業を事例に		14:45~16:15 東北から世界へ！ 世界の多様な防災意識・ コミュニティ防災を学び合う —次世代を交えて—	
発表 エリア 7 [会議室 4-B]		9:45~10:15 高校生と考える 「北海道・三陸沖 後発地震注意情報」		10:50~12:20 災害と心の レジリエンス —コミュニティ づくりの視点から—		12:55~14:25 知ってましたか？ 仙台防災枠組と SDGsの密接な関係！ —地元企業のSDGsな 取組みをご紹介—		15:00~15:45 東日本大震災体験 文集朗読会 —あの日、あの時、 私の記憶—	
青葉の風テラス [国際センター 2F]	9:45~10:15 せんだい災害 VR体験& マイ・タイム ライン作成 ①	10:45~11:15 せんだい災害 VR体験& マイ・タイム ライン作成 ②	11:45~12:15 せんだい災害 VR体験& マイ・タイム ライン作成 ③			12:30~16:30 レストスペース ※12:30～ オンライン発表			
仙臺緑彩館 [交流体験ホール]		9:45~10:45 エネルギー自律型 まちづくりに係る 取組みについて		11:20~12:50 [環境社会実験] 未来プロジェクト in 仙台 企画発表		13:25~14:25 指定避難所に設置した 太陽光発電システムの 有効活用について		15:00~16:30 女性と防災 まちづくり2024 「みんなで話そう！ 地域防災」	

※プログラム毎の詳細については、次ページ以降をご確認ください。

	9時 30 45	10時 15 30 45	11時 15 30 45	12時 15 30 45	13時 15 30 45	14時 15 30 45	15時 15 30 45	16時 15 30
ホワイエ	9:30~16:30 ポスター展示							
ブース展示 [展示室 1-A・2]	9:30~16:30 ブース展示							
メインステージエリア [展示室 1-B]		10:30~11:15 防災エンスショー	12:15~12:40 被災地に笑いを… 東北弁で紡ぐ、 防災落語	13:00~13:20 なんでだろう~? 防災なるほどライブ①	13:45~14:15 3.11レジリエンス・ トーク~映画を通じ、 世界との架け橋に~	14:40~15:00 なんでだろう~? 防災なるほどライブ②	15:15~15:45 仙台防災枠組 動画放映※	16:00~16:30 クロージング
環境フォーラム展示 [展示室 3-A]	9:30~16:30 環境フォーラムせんだい2024							

…発表    …ワークショップ    …ステージショー    …ブース・ポスター展示    …特別セッション・閉会式 ほか

※仙台防災枠組動画放映

東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦教授による解説で、仙台防災枠組の基礎内容を分かりやすくまとめた動画を放映します。防災まさむね君、仙台市防災・減災アドバイザーも出演中！

# ステージショー



会場：メインステージエリア

展示室 1-B 定員：224名

## 防災エンスショー

阿部 清人

10:30~11:15

従来の防災講演にはない、「防災」+「サイエンス」がミックスされた、ココでしか体験できない新感覚プログラム。阿部清人先生の誰にでも分かりやすい防災実験を通じて、災害を予防するために役立つ知識を身につけましょう！



## 被災地に笑いを… 東北弁で紡ぐ、防災落語

六華亭 遊花

12:15~12:40

古典落語を東北弁にアレンジする等、独自の落語を展開する宮城県在住の落語家。今回は「防災落語」で皆さまに笑いをお届けします。



## なんでだろう~? 防災なるほどライブ

お笑いコンビ  
テツandトモ

①13:00~13:20  
②14:40~15:00

「なんでだろう~?」でおなじみのお笑いコンビ テツandトモと一緒に防災を楽しく学びましょう！



## 3.11レジリエンス・トーク ~映画を通じ、世界との架け橋に~

13:45~14:15

NYで注目のパワリー映画祭をはじめ海外の映画祭で受賞が続く、東日本大震災の被災地を舞台にした映画『最後の乗客』。主演俳優、岩田華怜さん(元AKB48)と堀江貴監督を迎え、映画や舞台から生まれる共感と絆の可能性についてお話をうかがいます。



俳優 岩田 華怜



監督 堀江 貴



# 発表

会場：展示室・会議室



<b>発表エリア 1</b> [展示室 3-B] 定員：168名	<b>東北大学災害科学国際研究所連携シンポジウム</b>	
	東日本大震災メモリアルシンポジウム 2024 「誰一人取り残さない」インクルーシブ防災 10:00~12:00 ● 東北大学災害科学国際研究所	誰ひとり取り残さない防災の実現に向けた災害科学研究の成果発表、パネルディスカッション「個別避難計画の実効性を高めるためのマルチステークホルダーによる協働～医療的ケア者のケーススタディ～」を行います。
	令和6年能登半島地震災害復興支援シンポジウム 12:15~12:50 ● 東北大学災害科学国際研究所	能登半島地震発災から2ヶ月が経過し災害復興期に入っていく中で、東日本大震災を経験した仙台市と東北大学が、仙台防災枠組の理念に基づき、どのような復興支援が可能なかを現地のニーズに基づいて議論します。
	災害デジタルツインの構築と活用に向けて 13:00~14:20 ● 東北大学 災害科学国際研究所 災害レジリエンス共創センター	当センターのシンボルプロジェクトである「災害デジタルツイン構築プロジェクト」の成果を報告します。防災科研の臼田裕一郎上席研究員とともに防災DXの展望や仙台防災枠組との関連について議論をしております。
	レジリエント・コミュニティの創生を目指してーイオン防災環境都市創生共同研究部門の活動ー 14:30~15:20 ● 東北大学災害科学国際研究所 イオン防災環境都市創生共同研究部門	本発表では、イオンモール株式会社と公益財団法人イオン環境財団、東北大学災害科学国際研究所が設立した共同研究部門について、レジリエント・コミュニティの創生に向けた活動や今後の展望について報告します。
閉会式 今後の活動と世界防災フォーラム 2025 の発表 15:30~16:00 ● 東北大学災害科学国際研究所	災害科学国際研究所連携シンポジウムの閉会式の中で、今後の研究所の活動について所長から説明するとともに2025年3月に仙台で開催される第4回世界防災フォーラムの概要について代表理事から正式発表します。	
<b>発表エリア 2</b> [展示室 2-B] 定員：40名	海辺の復興の歩みー宮城野区津波被災地から、未来へー 10:25~10:55 ● 仙台市宮城野区海浜エリア活性化担当	
	早期警戒アクションの重要性について：私達が更に取り組めること 11:30~13:00 ● 防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)	国連気候変動会議でも注目される早期警戒システム(EWS)の普及と効果的な応用のため、国内でのEWS活用における課題や、EWSを補完する市民社会の役割、国内外での事前行動やEWSの好事例を発信します。
	仙台市防災・減災アドバイザーがお届け！出展者紹介コーナー 13:30~15:10 本当に役立つ！女性のための備蓄品 15:45~16:30 ● アミー株式会社/株式会社 Amcas	仙台市防災・減災アドバイザーによる出展者紹介コーナー、環境フォーラムせんだい2024実行委員会による、出展者紹介やクイズを実施します。 被災時の水が使えない状態で、本当に役立つ備蓄品を紹介。1つは被災地でボランティアに参加した女性が避難所の実情を踏まえて企画した下着に見えない下着。特殊加工で洗濯回数が少なくてOK、洗っても10分で乾く優れもの。もう1つは布製で通気性が高いのに使い捨てできる、ベタッと下着に貼るパッド。ショーツに貼れば毎回新品下着を適用した状況に！被災地へ支援品として送り、「役立った」の声をいただいたプロダクトです。
<b>発表エリア 3</b> [会議室 2] 定員：102名	SDGs×防災×社の都シンポジウム 9:45~11:15 ● 仙台市政策調整課/公益社団法人仙台青年会議所	
	まるごと防災の取組についてー自助の強化で事前の被害軽減対策の提案ー 11:50~12:50 ● 帝人フロンティア/まるごと防災協議会	仙台市は「世界に誇る防災環境都市」をテーマに、令和2年にSDGs未来都市に選定されました。企業の健康経営がSDGsや防災の備えへと繋がることについて、地域企業の方に講演いただき、一緒に意義を考えます。
	災害時に衛生面で女性と子どもを守る取り組みーWOTA BOXを活用した次世代の災害支援ー 15:30~16:30 ● 北良株式会社	自然災害はいつ発生するかわかりません。加速する人口減社会では災害時には私達一人一人が大事な「戦力」です。そのため私達は事前の被害軽減対策を自助で備えることが大切です。本日はその具体策を提案いたします。
<b>発表エリア 4</b> [会議室 3-A] 定員：48名	楽しみながら健康寿命を延ばすー災害弱者を生まないOpen Villageノキシタの取り組みー 9:45~10:45 ● Open Villageノキシタ	
	3.11の経験を全国へ「防災×女性リーダー」で地域の防災力向上！ー7府県の女性リーダー育成の現在地ー 11:20~12:50 ● 公益財団法人地域創造基金さなぶり	「誰ひとり取り残さない、災害弱者を生まないまちづくり」に挑戦・実践している『OpenVillageノキシタ』。災害弱者にならないために、楽しみながら健康寿命を延ばす取り組みをご紹介します。
	100年前の手紙ー関東大震災直後、アメリカに届けられた日本人学生の感謝の想いー 13:25~14:25 ● 一般財団法人 世界防災フォーラム	3.11での避難所等の女性の権利侵害等を踏まえ、休眠預金を活用して全国7府県の事業フェーズフリーの「防災×女性リーダー」育成の資金提供を実施（総額2億円弱）しており、その取り組みを共有します。
<b>発表エリア 5</b> [会議室 3-B] 定員：48名	「震災」を伝え続けるーそれぞれの取り組みを通して 11:05~12:35 ● 特定非営利活動法人イコールネット仙台	
	留学生・技能実習生 増加する外国人と多文化防災 14:45~16:15 ● 仙台観光国際協会 SenTIA・宮城県国際化協会 MIA	関東大震災直後に全米に日本支援を呼びかけたクーリッジ大統領。東北三県凶作に始まり、やがて東日本大震災に繋がる、日米の相互協力の歴史を750通の手紙から読み解き、国際協力の意義と将来の備えを考えます。
東日本大震災以降、紙芝居・冊子の発行・調査報告書等を通じて多様な人々にとつての防災・減災の重要性を伝え続けてきました4団体の取組を通して、その成果と今後に向けた課題を考えるシンポジウムを開催します。		日本に暮らす外国人や観光で来日する外国人が増えています。外国人には防災上どんな課題があり、どんな取り組みが求められているのか、留学生、技能実習生の関係者らと交えて一緒に考えてまいります。

各出展団体の分類は、右記の色分けてご確認ください。

- ：復興・次世代への継承
- ：防災・減災
- ：環境
- ：仙台防災枠組 2015-2030
- ：気候変動・災害の激甚化

☺…子どもも学べる・楽しめる    🗣️…手話通訳あり    📝…要約筆記あり

発表 エリア 6 [会議室 4-A] 定員：48名	<b>防災・減災の基盤としての「平和」について</b> 9:45～11:15 ● 東北創価学会	☺	世界では、紛争や人災により命を落とす人が絶えません。そこで今回は、我々日本人が享受している平和が、どれだけ防災・減災を考える上で基盤となっているかを、パネルディスカッション等を実施し、深掘りします。
	<b>しぜんと備える！地球にやさしい防災リュック～</b> 11:50～12:05 ● 株式会社生方製作所		地球に優しい防災リュックは環境負担を考えた今までにない防災×エコな商品です。緊急時に必要であり、かつゴミの排出量が少ないグッズを厳選しました。命を守り、環境も守る。新しい防災のスタイルを発信します。
	<b>共創・連携で培う地域防災力ーNGO・企業・行政・コミュニティで創ったネパール洪水防災支援事業を事例に</b> 12:40～14:10 ● 認定特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会		日本のNGOと企業が行ったネパールの河川洪水防災支援事業を事例に、その支援アプローチと目指した地域防災をご紹介し、異なる専門性を持つ関係者による連携や共創だからこそその強みや可能性を考えます。
	<b>東北から世界へ！世界の多様な防災意識・コミュニティ防災を学び合う 一次世代を交えて～</b> 14:45～16:15 ● 独立行政法人 国際協力機構（JICA）東北センター	☺	JICA 東北の防災プロジェクト実施団体（根浜 MIND + 大槌高等学校 × 東北大学 × JOCA 東北）のコラボによるパネルディスカッションで、高校生とプロジェクト専門家が共に、防災・復興への思いを語り合います。
発表 エリア 7 [会議室 4-B] 定員：48名	<b>知ってましたか？ 仙台防災枠組と SDGs の密接な関係！ 一地元企業の SDGs な取り組みをご紹介します</b> 12:55～14:25 ● 一般社団法人 SDGs とうぼく	☺	よく知られている SDGs と仙台防災枠組 2015-2030 が関係していることは、残念ながらあまり知られていません。このセミナーでは地元企業の SDGs な取り組みを防災・減災の視点からもご紹介します。
	<b>東日本大震災体験文集朗読会 一あの日、あの時、私の記憶～</b> 15:00～15:45 ● 仙台市女性防火クラブみやぎの朗読会		まだ深い悲しみの中にいた方々にお願いし、書いていただいた体験文集です。被災者の声を一冊にまとめ、朗読というカタチで活動を続けて参りました。記憶の風化に抗って…次の世代に悲しみと教訓を繋いで参ります。
オンライン 発表	<b>AI・Web3.0 と防災・減災・仙台防災枠組</b> ● 一般社団法人 地域連携プラットフォーム		現在の VUCA で持続不可能な時代の AI・Web3.0 と防災・減災、および、国連仙台防災枠組の関係を述べ、今後の防災減災あり方を阪神淡路以来支援をしてきた市民、全国市民社会組織としてお話しします。
※録画映像を、国際センター 2F 青葉の風テラスレストスペースにて 12:30～ および「仙台防災未来フォーラム 2024」公式ホームページで公開いたします。			
仙臺緑彩館 発表 [交流体験ホール] 定員：60名	<b>エネルギー自律型まちづくりに係る取り組みについて</b> 9:45～10:45 ● 仙台市地球温暖化対策推進課		次世代エネルギーの取組みとして、大学や企業と連携し、下水を活用した藻類の培養やオイル抽出等を行った「藻類バイオマスプロジェクト」、特定のエネルギーに依存せず、暮らしに必要なエネルギーを自ら作り出すことのできるまちづくりである「エコモデルタウン推進事業」についてご紹介します。
	<b>[環境社会実験] 未来プロジェクト in 仙台 企画発表</b> 11:20～12:50 ● FEEL Sendai（杜の都の市民環境教育・学習推進会議）		ホテルの保全活動や使わなくなった鉛筆・クレヨンを生まれ変わらせるワークショップなど、環境に配慮した行動を社会に広げる 5 つの企画の実施状況を発表します。
	<b>指定避難所に設置した太陽光発電システムの有効活用について</b> 13:25～14:25 ● 仙台市地球温暖化対策推進課		2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた仙台市の取り組みや、指定避難所である小中学校に設置した防災対応型太陽光発電システムの更なる有効活用を目指すエネルギーマネジメントの取り組みについて紹介します。



## ワークショップ

[詳細はこちらをチェック](#)



会場：発表エリア3 [会議室2]

### あれから13年スペシャルー仙台防災未来フォーラム編

13:25～14:55

東日本大震災により災害対応にあたった仙台市職員等の体験を、「朗読」や「映像」等によりイメージ豊かに疑似体験していただきます。あの日を記憶を共有し自分ごととして考える、未来に備えるためのイベントです。

- あれからスペシャル実行委員会

会場：発表エリア4 [会議室3-A]

### 防災を楽しく学べる！オリジナル防災カードゲーム体験

15:00～16:30

仙台まちづくり若者ラボ防災チームとして「防災を楽しく学べる！オリジナル防災カードゲーム」を制作いたしました。大人～子供までゲーム感覚で災害時の備え・動き方を学んでもらうことができます。

- 仙台まちづくり若者ラボ防災チーム



会場：発表エリア5 [会議室3-B]

### 災害時のボランティア活動

9:45～10:30

災害時に立ち上がる「災害ボランティアセンター」を知っていますか？被災した時どに相談すればいいかのご紹介や、災害時に自宅にあってほしい物、自分ができる活動は何かをみんなで一緒に考えます！

- 社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会



### 「被災シミュレーションもしもすぐろく」de間違いがし

13:10～14:10

高齢者・障害者・乳幼児が集う複合施設「ノキシタ」を舞台に、大地震が発生した際の被災シミュレーションをすぐろくのイラストに、ノキシタの代表・加藤（村長）と防災士イラストレーター ico の被災体験談の後に、災害教訓を元に製作したすぐろくを聴講者と一緒に読んでいきます。最後はすぐろくの間違いさがし（小中学生対象）！一番多く間違いポイントをGETした参加者には、ico が似顔絵を描き下ろしプレゼント！

- ico. × Open Village ノキシタ

会場：発表エリア7 [会議室4-B]

### 高校生と考える「北海道・三陸沖 後発地震注意情報」

9:45～10:15

防災・減災を学ぶ災害科学科の高校生が、北海道・三陸沖後発地震注意情報について紹介します。図上訓練などの体験を通して、後発地震注意情報や日々の備えについて、高校生と共に考えるワークショップです。

- 宮城県多賀城高等学校

### 災害と心のレジリエンスーコミュニティづくりの視点からー

10:50～12:20

体験型のワークショップを行います。テーマは「レジリエンス」と「コミュニティづくり」です。体験を振り返ることで、災害後の心の復興にコミュニティづくりがどうつながるか、一緒に考える場をつくっていきます。

- 仙石 PACE

会場：青葉の風テラス 2F

### せんだい災害VR体験&マイ・タイムライン作成

①9:45～10:15 ②10:45～11:15 ③11:45～12:15

VRゴーグルの映像を見ることで災害を疑似体験するとともに、大雨・台風による災害に備えた、家族一人ひとりの「避難計画」（マイ・タイムライン）を作成することができる、ワークショップを行います。

- 仙台市減災推進課

会場：青葉山公園 仙臺緑彩館 交流体験ホール

### 女性と防災まちづくり2024「みんなで話そう！地域防災」

15:00～16:30

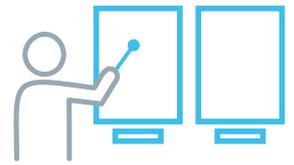
地域の防災力を高めるためには何が必要か、どうやって多様な人を巻き込むか、自分にできることは何かなど、参加者同士で話し合います。

- 仙台市男女共同参画課/エル・パーク仙台

# ブース・ポスター展示

会場：展示室・ホワイエほか

詳細はこちらをチェック



## 展示室 会場図



## 環境フォーラム（18 団体） 団体一覧

①	<b>植樹の大切さと建築士目線の SDGS</b> ● 地球の子舎と建築士有志	植樹の大切さ建築士目線の SDGS では、2050 年までに二酸化炭素を大幅に削減しなければならないため国をあげての省エネ政策が実施されていますが、お金をかけるだけではない省エネ対策を考える建築士目線の提案をします。
②	<b>持続可能なまちづくり —市民センターの取組—</b> ● 仙台市青葉区中央市民センター	青葉区内市民センターで行っている「持続可能なまちづくり」や「環境」をテーマにした取組を紹介します。オリジナル缶バッジ作りも行います。
③	<b>ともにアクション！ 地球温暖化対策 —地球温暖化とわたしたちができること—</b> ● 仙台市地球温暖化対策推進課	地球温暖化対策に関する市の事業やご家庭で日常的にできる取り組みを展示します。
④	<b>「杜の都スタイル」ってなんだろう？</b> ● 仙台市環境共生課	仙台らしい環境にやさしい行動や身近な自然に親しむ「杜の都スタイル」を広めるため、Instagram キャンペーンの実績作品や杜の都の生物多様性をご紹介します。
⑤	<b>再生紙で自分だけのストラップを作ろう！</b> ● ワケルキャンパス（仙台市家庭ごみ減量課）	再生紙を利用したクラフトバンドでオリジナルストラップを作成するワークショップを行います。難易度を分けた 3 種類の中から好きなデザインのストラップを作成することができます。
⑥	<b>なるほど！ 天水桶とレインガーデン</b> ● NPO 法人水・環境ネット東北／仙台リバーズネット・梅田川／雨水ネットワーク東北	天水桶（雨水タンク）やレインガーデン（雨庭）を実物や模型、ポスターなどで紹介します。FEEL Sendai の未来プロジェクトで実施した梅田川での活動紹介も行います。
⑦	<b>都市型学校林 仙台三高『時習の森』から仙台市の森林環境を考えよう！</b> ● 宮城県仙台第三高等学校理数科部	仙台第三高等学校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けており、本年度は学校林を通じて、生態系への理解や SDGs への理解を高めてきました。本展示ではその成果の一部を展示します。
⑧	<b>古紙古布を利用したの小物作り</b> ● NPO 法人仙台・みやぎ消費者支援ネット	子供から大人を対象に、使い古しの材料を利用しての小物作りを行い、楽しくエコへの意識を高めていただきます。
⑨	<b>カワニナの生態調査と人工飼育を通じた環境保全への理解</b> ● 東北学院中学校・高等学校科学部生物班	将来的に「ホテル溢れる仙台市」となるよう、昨年から地域団体の方々と協力して台原森林公園ホテルの里エリアで保全活動に取り組んでいます。今年度の活動内容とその成果を中心にポスター発表します。
⑩	<b>自然環境豊かな校内の池と庭から種多様性を学ぶ</b> ● 宮城県山形山高等学校総合科学部	本校にある池について、水質や生息している生き物を調査した結果を発表します。他にも、作成した中庭植生マップや、プランチ仙台の秋フェスなど外部行事へ参加した様子についても併せて発表します。
⑪	<b>もったいない ONE ACTION！ —鉛筆やクレヨンから始めるアップサイクルとリユース活動—</b> ● 幸せの町 35	身近なモノで伝えたい！ 小さい子どもから大人まで取り組める簡単な環境問題活動に取り組む活動が何か出来ないか！? について考えました。
⑫	<b>太陽ってすごい</b> ● みやぎ環境カウンセラー協会	地球温暖化等について模型を使ってわかりやすく説明します。また、地球環境に関心を持ってもらうためのクイズを実施します。
⑬	<b>ゲームを通して学ぼう気候変動と私たちのできる事</b> ● 仙台青葉学院短期大学／NPO 法人とうほく食育実践協会	気候変動はどうして起きるのか、私たちの生活とはどのような関係にあるのか、ゲームを通して楽しく学びましょう。ジェンガができれば、だれでも楽しめます。
⑭	<b>recycle の新しい形「ミュージックドネーション」</b> ● NPO 法人環境会議所東北	身の回りのすべてが資源です。ギターやベースの弦には様々な資源（スチール・スズ・銅・ステンレス・ニッケルなど）が使われています。ミュージックドネーションとして回収している取組を展示します。
⑮	<b>みどりの杜の自然を知ろう！</b> ● せんだい農業園芸センターみどりの杜 日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体	6 年間実施している「みどりの杜自然塾」の実績報告をパネル展示で紹介するとともに、みどりの杜内の植物をつかった「ミニ額縁づくり」のワークショップを開催します。
⑯	<b>仙台エコタウン —ここから始まる未来のカタチ—</b> ● 環境フォーラムせんだい 2024 実行委員会	「みんなで育てよう！かんきょうの木」など、環境フォーラムせんだい実行委員会（環境に関する活動をしている市民団体や NPO、企業、学生団体などから構成）のメンバーが考えた企画を実施します。
⑰	<b>小さな電気をつくってつかってみよう！</b> ● 公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	手回し発電機を回してぬいぐるみを動かしたりペラダ・庭先発電の体験を行います。
⑱	<b>グリーンカーテンを知ろう！</b> ● ストップ温暖化センターみやぎ	次の夏に向けてグリーンカーテンを作ってみませんか？

各出展団体の分類は、右記の色分けてご確認ください。

●：復興・次世代への継承

●：防災・減災

●：環境

●：仙台防災枠組 2015-2030

●：気候変動・災害の激甚化

😊…子どもも学べる・楽しめる

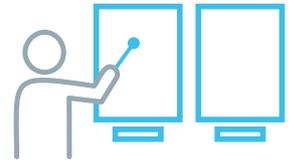
## ブース展示 (72 団体) 団体一覧

1	かほく防災記者マイ防災新聞 一私が主役の避難訓練ー ● 河北新報社防災・教育室	😊	「かほく防災記者」第3期研修に参加した宮城県内の中学生15人は家族と一緒に「私が主役の避難訓練」に挑戦しました。発見と課題を原稿にまとめ、自ら見出しを付けたマイ防災新聞を通して備えの大切さを訴えます。
2	防災の再考 一教訓を見直そう、紙段製品工夫、他ー ● 東北アウトドア情報センター	😊	大震災から13年。防災アウトドア術、車中泊術を発信して来ましたが、「防災とサバイバルは違う」「間違い誤解の防災」「災害保険の現状」などを再考します。役に立つ「折り紙、段ボール」の工夫も紹介します。
3	難病患者等における災害時の対応 (医療・避難・避難所など) ● NPO 法人宮城県患者・家族団体連絡協議会		難病患者は災害時に大きなリスクを負い、症状が悪化する恐れもあります。災害時に命や安全を守るための災害への備えや医療情報の確保について、患者目線で発信します。
4	【スマートグラス及び様々なタイプのカメラを活用した災害対策】 ● AMA Xperytey 株式会社		スマートフォン、スマートグラス等遠隔支援ツールを活用して如何に効率的に災害対策を出来るかをご紹介します。ブースではスマートグラス等も実際に体験頂けます。弊社ブースへの御来場お待ちしております。
5	水循環式手洗い機 WOSH / 水循環式シャワー WOTABOX / どこでも「窓」 ● 北良株式会社		会場ですぐに手洗い体験・スマホ消毒が可能な WOSH や、災害時に限られた水で温水シャワーが可能な水循環式シャワー WOTABOX、そして、拠点間の情報共有や遠隔診療等に使える通信システム「窓」を展示します。
6	新事業創出を目指す「仙台 BOSAI-TECH イノベーションプラットフォーム」の取組について ● 仙台市産業振興課 / 仙台 BOSAI-TECH イノベーションプラットフォーム		仙台市が運営する【防災×テクノロジー×ビジネス】が融合した新事業創出支援のためのプラットフォームの取組と、そこで開発された防災関連の新たなソリューションの紹介を行います。
7	防災 DX 災害リスク・防災情報の見える化システム ● 株式会社アイ・クリエイト		もしも、ではなく今起きることを知る重要性。当システムがあれば、管理画面1つで様々な災害状況や状態を集約・管理し、LINE等のメッセージングアプリや、SNS、サイト上で簡単に共有することができます。
8	情報通信と災害に強い街づくり ● 耐災害 ICT 研究協議会		情報通信を活用した災害に強い街づくりについてご紹介するとともに、最新の研究開発に係る内容などの展示を実施いたします。
9	パーソナル防災サービス「pasobo」一誰ひとり取り残さない。あなたにぴったりの防災をお届けするー ● 株式会社 KOKUA		Web上で住所や世帯情報、自宅の情報を入力するだけで、災害リスクや実施すべき防災対策が確認でき、必要な防災グッズの購入にできるサービスをご紹介します。自分に合った防災対策を見つけることができます。
10	地域と大学が取り組む災害避難の課題解決の取組 ● 岩手県立大学防災復興支援センター		夜間寒冷地・津波・コロナ禍等を想定した避難訓練の運営支援活動、各自治体との地域防災に関する研究プロジェクト、自治体・自治会・地域住民を主対象とした避難訓練、地域防災計画の策定支援等の紹介を行います。
11	学生による被災地での活動について ● 兵庫県立大学学生災害復興支援団体 LAN		東日本大震災以降継続して行ってきた被災地での活動と現在取り組んでいる防災の活動について発表します。
12	新しい地域防災へのアプローチ 一「地形」を知って命を守るー ● 東北福祉大学 水本匡起ゼミ・チーム防災士 (地域防災研究チーム)	😊	仙台市内の各地区で行った、今までにない「新しい手法の防災講演や防災まち歩き」の概要をご紹介します。赤青メガネを使って、防災に役立つ身近な地形を3D画像でわかりやすく紹介します。
13	仙台市防災・減災啓発ギャラリー ● 仙台市減災推進課		災害から自分や家族を守る一人ひとりの「自助」の備え、自主防災組織や「仙台市地域防災リーダー(SBL)」による「共助」の取組み、そして仙台市が行う「公助」について展示・ご紹介するブースです。
14	近くにある災害時の給電拠点がわかる！ 一トラックやフォークリフトから災害時に給電ー ● 協和運輸倉庫/イーコース		地元物流企業が災害時の給電拠点として、倉庫のフォークリフトや街中を走っているトラックから給電します。近くにある給電拠点は電源ドナー(アプリ)で平時から確認できるので安心です。
15	ハザードマップを利用した地域性を重視した防災マップづくりの事例紹介 ● 認定特定非営利活動法人防災・減災サポートセンター	😊	市民(小中学校を含む)を対象とした、ハザードマップを利用して、地域に根付いた地震、浸水、洪水、土砂災害などの防災マップづくりの事例等をご紹介します。
16	おうちで・お店で自分でできる！ 防災・減災 一ふだんの生活から備える習慣をー ● みやぎ生活協同組合	😊	ふだんのくらしの中で、栄養バランスも考えながら備え続ける「ローリングストック」を親子で楽しく学ぶほか、環境問題を考える展示を行います。環境配慮かつストックに役立つ商品や、簡単防災レシピもご紹介します。
17	仙台市津波避難広報ドローンについて ● 仙台市危機対策課		東日本大震災の経験を踏まえ、仙台市が津波からの避難を呼びかけるための新たな広報手段として整備を行い、令和4年10月より運用を開始した「津波避難広報ドローン」についてご紹介します。
18	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト 一仙台東部地域みどりの再生ー ● 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	😊	海岸防災林等での植樹会や、苗木の手入れを行う育樹会等を開催し、仙台東部地域のみどりを再生しています。パネル展示を通して皆様にご紹介します。また、ミニワークショップ「松ぼっくりの人形工作」を行います。
19	ペット同行避難について ● 仙台市動物管理センター / NPO 法人エーキューブ		災害時に備えて、日頃から飼い主が行うべき準備の紹介やペットの同行避難について、動物用避難用品、各種パネルや写真の展示、チラシ等の配布を行っています。
20	防災・減災の基盤としての「平和」について ● 東北創価学会	😊	防災・減災の基盤としての「平和」について、他団体との連携を通じて深めながら、その成果をパネル発表させていただきます。当日は防災クイズ等、本テーマを身近に感じてもらうミニアクティビティも準備します。
21	仙台市周辺の活断層と地震防災 一調査・研究の紹介ー ● 東北大学災害科学国際研究所 都市直下地震災害(応用地質)寄附研究部門	😊	長町・利府線断層帯周辺の地質・地形、地震による揺れの予測に関する調査・研究結果をポスター掲示等の方法で紹介します。また、調査に使用する機器の展示と実演により体験型の展示を計画しています。
22	より良い復興と将来の災害に備えるための産学の取組み ● 国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門		津波被害予測、生態系減災(Eco-DRR)の研究、防災の国際標準化(ISO)、小中学生向け減災教育の推進、これらの成果を含む活動を発表いたします。
23	仙台城と地震被害 一仙台市域の災害ー ● 仙台市博物館		仙台城などが受けた過去・現在の地震による被害とその復興についてや、仙台市域の災害についてのパネル等を展示します。また、各区の歴史災害等についても紹介している『「仙台市史」活用資料集』を販売します。
24	災害への備え 一水災害リスク情報提供サービス・災害時の対応支援システムー ● 株式会社建設技術研究所		カメラによる情報と水災害リスク監視システムを一体で提供するシステムを構築し、避難等の意思決定を支援するツールを提供致します。BCPの運用を効率化するシステムを提供致します。
25	東日本大震災の経験から今後予想される大震災に向けての防災 ● Navy Fields LLC.		浄水器&ろ過器の展示、販売を行います。モニターによる製品、組み立て、メンテナンス説明、HPの配信、水道水の浄水、池や川の水をろ過して飲料水の美演をします。A4冊子、名刺サイズの製品説明を用意しています。
26	仙台市ガス局の防災・減災の取り組み ● 仙台市ガス局		東日本大震災を教訓とした取り組みや、日々の保安対策をご紹介します。また、災害時のレジリエンス強化に加え、環境負荷低減に寄与する設備をご紹介します。
27	防災×健康づくり 一地域と共に防災・減災につながる健康づくりー ● 仙台市宮城野区家庭健康課		宮城野区家庭健康課では、地域主体の防災訓練において、防災×健康づくりの取組みを民間企業の協力を得て実施しています。また、子育て世代向けに実施している防災啓発の活動を受けて報告いたします。
28	総合防災のパッケージ「まるごと防災」一事前の被害軽減対策を自動で強化ー ● 一般社団法人まるごと防災協議会		災害時の地震対策製品として家具転倒防止器具「不動王シリーズ」、火災対策として火を消せるカーテン「プルシェルター」、自動ラップ式トイレ「ラップポン」他、自助を強化する製品を多数展示しております。
29	江崎グリコより、「防災備蓄品のご紹介」 ● 江崎グリコ株式会社		1)「食べ慣れたもの」日頃から食べ慣れた商品は災害時にも安心感をもたらします。2)「おいしいもの」災害時は食欲もなくなりがち。ご自身が召し上がる前提で選びましょう。
30	仙台市の宅地の事前防災について 一「宅地耐震化推進事業」と「宅地擁壁の支援制度」の紹介ー ● 仙台市宅地保全課		東日本大震災のような大地震による宅地被害を軽減するには発災前に対策を講じる事前防災が重要です。そこで、仙台市の取組みとして「宅地耐震化推進事業」や「宅地擁壁の支援制度」をパネル展示等により紹介します。
31	我が家は地震に大丈夫？ 一木造住宅耐震化とブロック塀等の安全対策ー ● 仙台市建築指導課		仙台市で行っている、古い耐震基準で建てられた戸建木造住宅の耐震診断・耐震改修工事の補助制度や、ブロック塀等の安全対策・補助制度について紹介します。
32	普段使っている避難所間仕切り家具「FUDAN-GI」一次の防災ステージへー ● 一般社団法人ヒトレン	😊	普段はベンチなどとして活用でき、災害時には間仕切りとなる防災家具「FUDAN-GI」の実物展示を行います！可愛い公式キャラクター、ハコベコを使った団体グッズや防災絵本の販売もしますので、是非お立ち寄りください！

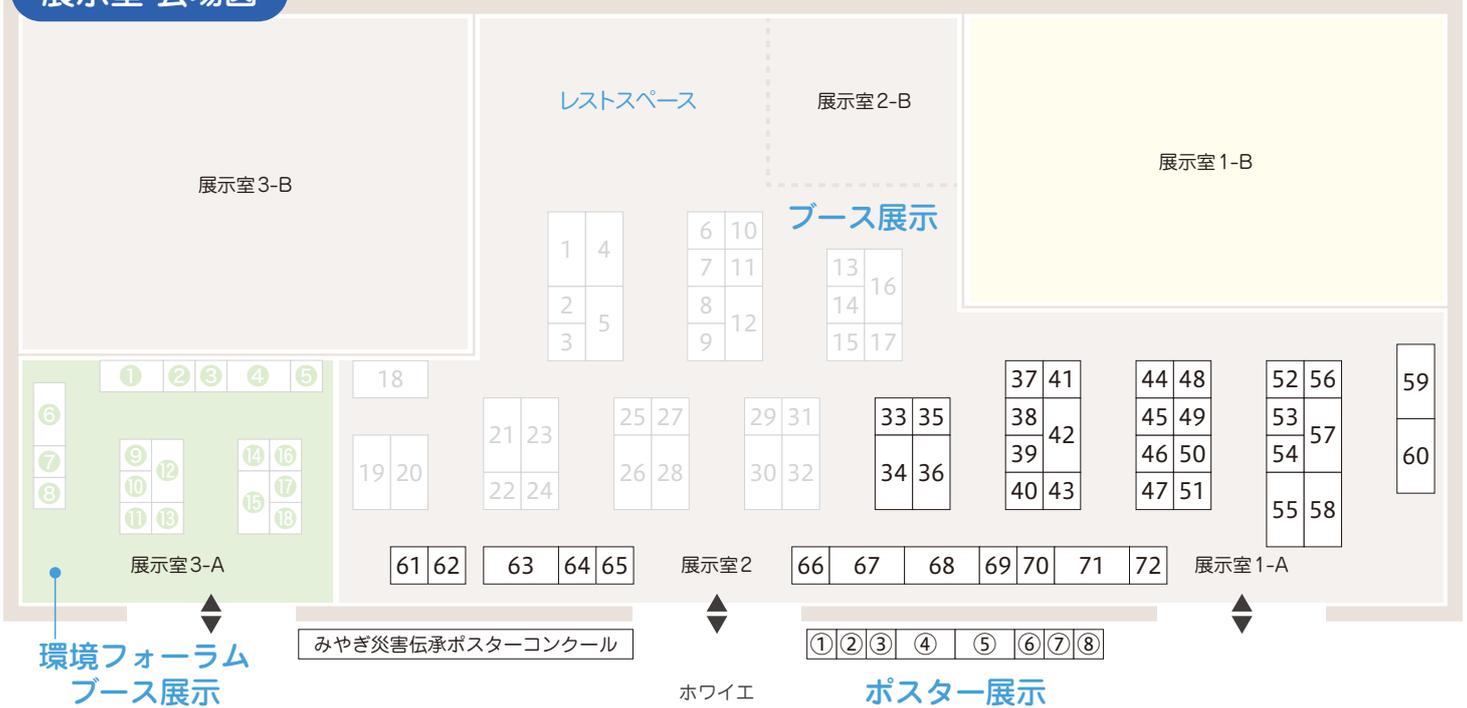
# ブース・ポスター展示

会場：展示室・  
ホワイエほか

詳細はこちらをチェック



## 展示室 会場図



33	<b>新しい災害食 一すべての方々に安心な備えをー</b> ●株式会社はつらつ		乳幼児から高齢者まで（アレルギー対応）、災害時要配慮者にも最適な災害食「なめらか白がゆ」の展示です。試食・持ち帰り用サンプル配布、また、一般調理にも使える活用法、ローリングストック法の紹介です。
34	<b>知っていますか？ 災害時のこころのケア</b> ●仙台市精神保健福祉総合センター／はあとケアサークル YELL		あなたとあなたの周りの方のための、様々な災害への備えとして、普段から必要なメンタルヘルスケアに関する情報をお伝えします。日頃からできるストレスケアについて、一緒に考えてみませんか。
35	<b>「せんだい安心ナビ」を知ろう、使おう 一精神障害や発達障害のある方向けのシミュレーションブックー</b> ●仙台市障害者支援課		「せんだい安心ナビ」は災害の備えから、避難時のシミュレーションまで一連で学べるツールです。防災に関する教材の1つとして障害者支援施設や相談支援機関などで、「自助力」を高めることにご活用ください。
36	<b>3.11 伝承・減災プロジェクト</b> ●宮城県土木部防災砂防課		今後発生が想定されている、地震・津波に関連したものや、東日本大震災からの伝承の取り組みなどをパネル展示およびデジタルアーカイブ映像でお伝えします。
37	<b>防災ジオラマ展示 一六郷地区編ー</b> ●仙台市若林区区民生活課		六郷市民センターにて令和6年2月18日（日）に実施いたしました、「防災ジオラマ製作体験」の成果物を展示します。
38	<b>全国初！ 非常食アレンジレシピコンテスト2023 ーENJOY BOUSAI 非常食をいつもごはんー</b> ●さくらんぼ県の防災やさんにしや		「全国初！非常食アレンジレシピコンテスト2023」をご紹介します。長期保存食と乾物などの備蓄食材を組み合わせたレシピが全国から大集合！入賞に輝いたレシピと想いを展示、おいしい非常食の販売も行います。
39	<b>PARTS ー FIT ーはたらく場所にフィットする。</b> ●ココヨ東北販売株式会社		働く場所に合わせ部品の様に様々な組み合わせが出来る防災用品 PARTS ー FIT。保管場所に困っていた防災用品が、保管庫・倉庫へ無駄なく収納できます。誰にでも分かりやすい防災対策を御提案致します。
40	<b>女性と防災パネル展示</b> ●仙台市男女共同参画課／エル・パーク仙台		仙台市と（公財）せんだい男女共同参画財団が共催で実施している「地域版女性リーダー育成プログラム」をはじめとする女性と防災まちづくり事業について紹介します。
41	<b>あなたの体験を教えてください ーインタビューシートに綴られた言葉ー</b> ●3がつ11にちをわすれないためにセンター（せんだいメディアテーク）		東日本大震災が起きたとき、何をしていましたか？どんな体験をし、何を感じ、考えましたか？一さまざまな問いから出来事を振り返るインタビューシートに綴られた、一人ひとりの手書きの体験談を展示します。
42	<b>過去の災害の記憶と記録を振り返る ～仙台市図書館所蔵資料より～</b> ●仙台市市民図書館		宮城県沖地震や東日本大震災など、過去に起きた災害に関する新聞記事や雑誌の特集などを展示します。電子図書館で震災関連資料を読む体験ブースも設置します。
43	<b>女性たちの「手仕事」</b> ●仙台市沿岸 編み会・縫い会		東日本大震災の復興の過程で生まれた女性たちの「手仕事」。展示や販売を通じて、作り手の思いや手仕事を持つ力、被災地の女性の今をお伝えします。
44	<b>津波による絶滅を奇跡的に免れた「井土メダカ」里帰りまでの10年</b> ●仙台市若林区／仙台市八木山動物公園		東日本大震災の津波で大きな被害を受けた仙台市若林区六郷東部地区における復興まちづくりと、津波による絶滅を奇跡的に免れたこの地域固有の「井土メダカ」を巡る物語について、パネルや生体展示等で紹介します。
45	<b>「Build Back Better（よりよい復興）」に関する経験と教訓の発信</b> ●国際復興支援プラットフォーム（IRP）		災害からの「Build Back Better（よりよい復興）」の促進のため、国内外の教訓・知見を共有する「国際復興フォーラム」や、優良事例を掲載した分野別「復興ガイドスノート」などを紹介します。
46	<b>持続可能な未来のための創造的な学習としてのおもちゃ作り</b> ●Wokober Education Foundation		内戦からの復興に取り組むウガンダの教育団体ウォコベは、協同のおもちゃづくりを通じて子供の創造的問題解決力の育成を行なっています。ブースでは子どもの作品例を展示します。皆様と経験を共有できれば幸いです。
47	<b>インドネシア国パル市集団移転先住民による自主防災活動の取組み</b> ●公益社団法人青年海外協力協会		岩沼市での被災者コミュニティ支援や市民による自主防災活動の取組みを、インドネシア中部スラウェシ州震災で被災した住民が暮らす集団移転先コミュニティの再生や、より災害に強いコミュニティの形成に繋げます。
48	<b>釜石と神奈川の高校生が本気で考えたオリジナル防災ゲーム体験！</b> ●夢団～未来へつなげる ONE TEAM～（釜石）／防災普及学生団体 Genkai（鎌倉）		岩手県釜石市をベースに震災伝承や防災活動を行う高校生と、神奈川県をはじめ被災地で楽しく学ぶ防災の普及を行う高校生・大学生が共同で開発したオリジナル防災ゲームのプロトタイプの体験コーナーです。
49	<b>「311ゼミナール」教師を志す学生たちの震災学習記録</b> ●宮城教育大学		宮城教育大学が2019年度開設の「311いのちを守る防災教育研修機構」で始めた震災に向合う自主ゼミ活動について、最新の成果を紹介します。
50	<b>大学生による復興支援および防災啓発活動 一岩手県大船渡市や宮城県石巻を中心とした事例の紹介ー</b> ●東海大学 3.11生活復興支援プロジェクト		津波到達ラインを可視化した「結の道」や、被災地の仮設集会場として建設された「どんぐりハウス」、被災地の子ども達を対象とした企画等を紹介致します。また、今までに実施した学内外での防災啓発活動も紹介します。
51	<b>災害科学における防災教育の実践 ー未来を拓く防災教育ー</b> ●宮城県多賀城高等学校		災害科学における防災教育の実践について、高校生が自分たちの言葉で、学び・考えたことを交えて説明します。さらに、防災・減災に関する生徒の探究活動についても紹介します。ぜひお立ち寄りください。

各出展団体の分類は、右記の色分けてご確認ください。

- ：復興・次世代への継承
- ：防災・減災
- ：環境
- ：仙台防災枠組 2015-2030
- ：気候変動・災害の激甚化

子どもも学べる・楽しめる

52	一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 一教訓が、いのちを救う。 ●一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構	東日本大震災の実情と教訓を伝える「震災伝承施設」をマップで紹介し ます。また、3.11 伝承ロード推進機構で取り組む震災伝承活動についてパネ ルで紹介しします。
53	学生ボランティア活動から取り組む震災伝承と防災 ●東北大学 SCRUM	2023 年度私たちは、南光台東小での防災ゲーム企画や、石巻市震災遺構・ 大川小学校での語り部活動を行いました。私たちの活動紹介を通して、災害 に備えることの重要性和新たな震災伝承の在り方を発信します。
54	つなげる・つたえる・つづける 3.11 ●尚綱学院大学ボランティアチーム TASKI	震災直後から名取市閑上地区で住民の方々と交流活動を続けています。今年 は伝承活動に注力しながら、防災について考えてきました。「自分の言葉で 伝える」ことをモットーにする私達の言葉を、ぜひ聞いてください。
55	「未来へ思いを紡ぐ大学生震災復興支援プロジェクト」について発表 ●東北福祉大学／神戸学院大学／工学院大学／東京家政大学／桃山学院教育大学	東日本大震災から 10 年を機に「未来へ思いを紡ぐ大学生震災復興支援プロ ジェクト」を実施中。関東大震災から 100 年、阪神大震災から 30 年の節目 として、活動の紹介や次世代を担う若者の提言等の発表を行います。
56	宮城県図書館の震災伝承活動について ●宮城県図書館	東日本大震災の発生から復興・復興に関する宮城県内の記録をデジタル化し た「東日本大震災アーカイブ宮城」を紹介しします。また、東日本大震災の 関係資料を収集している「東日本大震災文庫」を紹介しします。
57	3.11 伝え続ける 一未来のためにー ●NHK 仙台放送局	NHK 仙台放送局では、東日本大震災の「伝承」と「防災・減災」をテーマ に企画展を開催します。震災の記憶や思いを後世につないでいくとともに、 日ごろから備えておきたい防災の知恵などを紹介しします。
58	宮城県震災復興パネル展 ●宮城県	宮城県の東日本大震災からの復興状況をまとめたパネルを展示するととも に、震災復興・伝承に関する広報冊子、パンフレットの無料机上配布を行 います。また、震災遺構や震災伝承施設をご紹介する動画を放映しします。
59	あなたのダイアリー ー 3.11 からの 10 年の足あと、そしてこれからー ●仙台市若林区保健福祉センター家庭健康課	東北大学と仙台市との共同事業「被災者健康調査」から見てきた人々の営 みを、3 人の登場人物を通して見つめる、参加型の展示内容も含めたブー ス展示です。
60	仙台市水道局 一災害に強い水道づくりー ●仙台市水道局震災対策情報発信プロジェクトチーム	仙台市水道局が行っている「災害に強い水道づくり」について、「自助」、「共 助」、「公助」、「連携」の観点から、ポスター・模型・動画等を通じて、市民 の皆様へ理解を深めてもらうものです。
61	減災・防災につながる植樹活動 ー東日本大震災の津波被害地での海岸防災林の再生ー ●公益財団法人イオン環境財団	当財団は 1990 年の設立以来、自然災害や伐採等で荒廃した森の再生を目的 に、ボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施しております。イオ ン全体の累計植樹本数は、1,265 万本を超えました。
62	東北大学災害科学国際研究所イオン防災環境都市創生共同研究部門の活動 ●東北大学災害科学国際研究所 イオン防災環境創生共同研究部門	本展示では、イオンモール(株)と公益財団法人イオン環境財団、東北大学 災害科学国際研究所が立ち上げた共同研究部門の活動について、市街地の緑 化や防災・減災、感染症対策の展望などの紹介をします。
63	ここが新しい！ 仙台防災枠組のアイデア ーなぜ「世界」防災を仙台から発信するのかー ●一般財団法人世界防災フォーラム	日本の防災のすごどころといえば、避難訓練とか、建物の耐震化とか…そ うだけど、そうじゃないんです！仙台防災枠組のどこが新しくすごいのか を例に、日本と世界の災害への考え方の違いを簡単に説明しします。
64	共創・連携で培う地域防災力 ーNGO・企業・行政・コミュニティで創ったネパール洪水防災支援事業を事例に ●認定特定非営利活動法人シャランニール＝市民による海外協力の会	NGO のシャランニールが日本の企業、国土防災技術株式会社の協力を得て 行ったネパールの河川洪水防災支援事業の具体的な支援アプローチと目指 した地域防災を事例に、連携や共創の方法や強みを紹介します。
65	SDGs と仙台防災枠組 2015-2030 の関係 ●一般社団法人 SDGs とほく	意外と知られていない SDGs と仙台防災枠組 2015-2030 の関係をパネルで ご説明しします。
66	Date fm サバ・メシ防災ハンドブック 2024 ●Date fm	災害時に役立つ情報を中心に掲載し、毎年発行している Date fm 「サバ ・メシ防災ハンドブック」。2024 年版のハンドブックを無料配布いたします ので、ぜひお手にとってお役立てください。
67	女性・子ども・赤ちゃんの必須備蓄品 ーフェーズフリーを実践しようー ●アミー株式会社／株式会社 Amcas／株式会社明治	女性や子ども、赤ちゃんが被災時に必要とする備蓄品を紹介します。「いつも 使っているものをストックするだけで、「もしも」の時の安心につながります。
68	楽しみながら健康寿命を延ばす ー災害弱者を生まない OpenVillage ノキシタの取り組みー ●Open Village ノキシタ + ico.	「誰ひとり取り残さない、災害弱者を生まないまちづくり」に挑戦・実践し ている、『OpenVillage ノキシタ』。ノキシタの取り組みを、防災士イラス トラーター・ico. がイラストで徹底解剖しします。
69	海上保安庁の防災対策について ●海上保安庁第二管区海上保安本部	海上保安庁による自然災害への対応状況、津波防災情報図、東日本大震災 で被災した航路標識の復旧状況と防災対策について紹介しします。
70	南三陸 311 メモリアルでの震災伝承・防災・減災への取り組み ●南三陸 311 メモリアル	2022 年 10 月にオープンした南三陸 311 メモリアルの施設概要やラーニン グプログラムをはじめ、南三陸町での震災伝承活動を中心とした防災・減災 への取り組み、来館者の実態などを紹介しします。
71	災害から命を守るために ー気象庁が発表する情報についてー ●仙台管区気象台	地震、津波、大雨、台風…いざという時の備えはできていますか？ 災害時 に自分や大切な人の命を守るために知ってほしい、気象庁が発表する情報に ついて気象台の職員がわかりやすく説明しします。
72	防災士会みやぎ活動報告について ー防災・減災啓蒙活動から災害支援活動ー ●特定非営利活動法人 防災士会みやぎ	本会の平時及び災害時の活動の報告をパネル展示で紹介させていただきます。 また、「防災士」とはの紹介と本会発刊の減災絵本「リオン」の展示と紹介 をさせていただきます。

## ポスター展示 (8 団体) 団体一覧

①	無電柱化ポスター展 ●仙台市道路計画課	災害の激甚化・頻発化による電柱倒壊などから、近年、無電柱化の必要性が 増えています。無電柱化に関する理解と関心を深めていただくため、無電柱 化の目的や手法、本市の取組等を紹介しします。
②	道路不具合通報システム 一道路損傷通報アプリ FixMyStreet Japan ー ●仙台市道路保全課	市のパトロールだけでは把握しきれない道路に関する不具合に気づいた時 に、スマートフォンアプリを利用して、手軽に市に通報できる「道路不具合通 報システム」のご紹介です。
③	災害発生時の情報収集と発信 ー地域新聞社が住民に届けられるものー ●株式会社石巻日日新聞社	震災の津波による停電、輪転機の故障により当社では新聞発行ができません でした。住民に届けたのは「石巻日日新聞」の題字が入った壁新聞でした。 苦渋の決断でしたが、安心を届けたいという一心でペンを握りました。
④	本当に役立つ！ 女性のための備蓄品 ●アミー株式会社／株式会社 Amcas	被災時の水が使えない状況で、本当に役立つ備蓄品をご紹介します。1つは被災地でボランティアに参加した女性が避難所の実情を踏まえて企画した下 に見えない下着、特殊加工で洗濯回数が増えて OK、洗っても 10 分で乾く優れもの、もう 1つは本気で通気性が高いのに臭いに負けない、ベタ と下着に貼るパッド、ショーツに貼れば毎日新品下着を履いた状況に被災地の支援品として、「役立った」の声を聞いたパッドグッズです。
⑤	キャンドルナイト 2024 知ろう・動こう・未来のために ●3.11 キャンドルナイト実行委員会	2017 年より高校生が主体となり、勾当台公園市民広場において東日本大 震災における、鎮魂、感謝、震災の風化防止、防災意識の向上を目的にキャ ンドルナイトを企画運営しております。
⑥	仙台市市民センターの復興・防災の取り組み ●仙台市市民センター	仙台市市民センターは市内に 60 館あり、多くの市民に利用されています。 身近な社会教育施設として地域の方々と一緒にできた、震災復興や地域の 防災・減災に資する事業、地域の絆を深める事業等を紹介しします。
⑦	六郷東部地域のにぎわい再生に向けて ー東日本大震災からの復興の歩みー ●わたしのふるさとプロジェクト	私たちは、東日本大震災で甚大な被害を受けた六郷東部地域の「にぎわい再 生」「交流」「再会」「復興の歩みや震災記憶の発信」等を目的に、2014 年 より活動しています。今回はこれまでの活動の歩みを紹介しします。
⑧	海浜エリア(仙台市東部沿岸地域)の今 ーつながりから生まれる、集いの海辺ー ●仙台市若林区海浜エリア活性化企画室	海浜エリアでは、防災集団移転跡地活用事業等による施設整備をはじめ、 地域住民・団体等による様々な取り組みが進められています。エリアの将来 像や多彩な魅力を紹介します。

## 〈みやぎ災害伝承ポスターコンクール〉

第 2 回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品展	過去の災害の記憶と教訓に触れ、災害時に命を守る行動がとれることを目指 して、関係機関と連携して実施した災害伝承ポスターコンクールの受賞作品 を展示しします。
----------------------------	--

# キッズにおすすめ

9:30~16:30

ホワイエ・展示エリア内

## 参加するだけで学べる防災アクティビティ! 防災ヒーロー入団試験クイズラリー

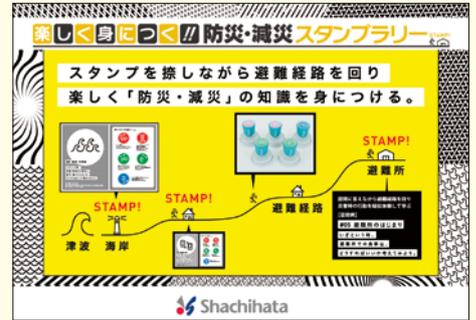
防災についての知識をクイズラリー形式で学びます。会場内のチェックポイントをまわりながら「もしも」を考えましょう。被災時に役立つ「防災スリッパ」の作り方を覚えたら入団試験に合格です!



## シャチハタ 楽しく学ぶ 防災・減災スタンプラリー

会場内6か所で問題に回答しながらスタンプラリー。災害に備え、被害を少なくするための行動を、自分で考え実践する力を育みます。最後にアドバイスとプレゼントあり。

●シャチハタ株式会社



スタンプラリー台紙は  
こちらで配布しています

仙台国際センター 展示棟  
ブース展示 [展示室1-A] 入口

総合インフォメーションの近くです

ブース展示 [展示室1-A]

シャチハタ  
スタンプラリー  
受付

防災ヒーロー  
クイズラリー  
受付

総合インフォ  
メーション

ホワイエ

## 令和6年能登半島地震関連特別展示等

被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

- 能登半島地震災害復興支援シンポジウム  
主 催：東北大学災害科学国際研究所  
会場・時間：発表エリア1 12:15~12:50  
詳細は、P6をご覧ください。
- 被災地での活動紹介  
場 所：展示棟内
- 能登半島地震災害義援金のための募金箱設置  
場 所：展示棟ホワイエ

皆さまからご協力いただいた募金は、日本赤十字社からの災害義援金として被災者の支援に役立てられます。

## 防災備蓄を見直そう! 食べきれない食品はフードドライブへ!

備蓄食料をそろえていたけど、気が付けば賞味期限が切れていた...という経験はないでしょうか。この機会に防災備蓄の賞味期限を確認してみませんか? 家庭や職場に眠っている食品をフードバンク団体などに寄付する活動「フードドライブ」を青葉の風テラスにて実施しています。

仙台市  
フードドライブ

回収品目など詳しくはWEBサイトをご確認ください。



## こども記者の取材にご協力ください!



「こどもみらい通信社」の腕章をつけたこども記者が会場内で取材中。たくさんのご意見をお待ちしています。

「こどもみらい通信社」とは? 東日本大震災の経験から誕生した子どもたちによる情報発信活動です。 <https://kodomokisha.net/>



## 来場者アンケート

今後の取り組みの参考にさせていただくため、  
アンケートにご協力ください。

右の二次元コードにより「みやぎ電子申請サービス」にアクセスいただくか、会場内で配布しているアンケート用紙に記入をお願いします。ご記入いただいた方には、プレゼントをご用意しております(無くなり次第終了)。記入いただいたアンケート用紙は、会場出口付近で回収いたします。

\*回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

来場者アンケート  
入力フォーム



お問い合わせ先 フォーラムに関する詳細はホームページをご覧ください。 >>>

仙台防災未来フォーラム2024 運営事務局

TEL: 022-722-1657(土日祝日を除く10時~17時) FAX: 022-722-1658  
E-mail: sendai-mirai-forum2024@c-linkage.co.jp

ホームページ <https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2024/>

<https://www.facebook.com/sendai.bosaimiraforum>

公式ホームページ

facebook

